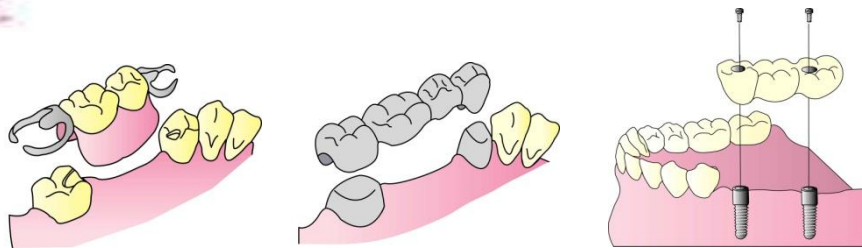


口は健康のもと Vol.198

歯の喪失原因とその治療方法

歯を失う原因のトップ3は、齲蝕（うしょく）、歯周病、歯根破折です。齲蝕とは虫歯のことで、虫歯菌がつくる酸によって歯が溶けていく病気です。歯周病とは歯槽膿漏のことで、歯周病菌による感染で歯の周りが炎症を起こし、歯を支える顎の骨が減って歯がグラグラと揺れる状態です。齲蝕と歯周病は、病状が軽度であれば抜くには至りませんが、重症化すると抜かなければなりません。歯根破折とは歯の根が割れてしまう状態で、神経をとった歯に土台を入れた場合や入れ歯のバネがかかる歯に多くみられます。

現在の歯科医学において失った歯を回復するには、ブリッジ、入れ歯、インプラントの3つの方法があります。ブリッジは失った歯数が少ない場合に適用され、失った歯の両隣の歯を土台として歯を被せる方法で、取り外す必要がなく違和感の少ない治療法です。入れ歯は失った歯数が多い場合に適用され、残った歯を支えとする部分入れ歯と歯がすべてない場合に作る総入れ歯があり取り外し式です。インプラントは金属製の土台を顎の骨に入れてそれを支えに歯を被せる方法で、失った歯数に関係なく治療ができ取り外す必要がなく違和感は少ないが高額で期間を要し手術を伴います。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 講師 松本 知生

